

《グラビア》

三年の学習

《序文》

『学習研究』復刊四〇〇号を迎えて 内田聖二 (1)

主題

総合的な学びを育てる学習法
子どもに育つ確かな力③
— 追究する力 —

こだわりの追究力を 都留 進 (6)

しごとと合宿 谷岡 義高 (12)

学びを育てる連続性 太田 誠 (18)

子ども記 舟木君、さえわたる！ 小幡 肇 (24)

実践

自律的に学ぶ子どもの育成を目指して
— 「学習法」で歩んできた道 —

中谷内 政之 (26)

くらしと道 (I)
— 四年生「しごと」の実践より —

廣岡 正昭 (32)

石の心
— 石をテーマとした総合的な学習(4年) — その1

嶋守 哲夫 (38)

奈良の歴史ウォッシングⅡ(六年)
— 平城宮跡・薬師寺・唐招提寺編 —

堀本 三和子 (44)

「保健グループ」からの発信
— 「高学年なかよし集会」の発表 —

矢田 留美子 (50)

まほろば 万葉集との出会いから 梶田 萬理子 (56)

《実践寄稿》

児童の手による自然環境の整備
— 六年の児童生が、はじめての学校を中心とした取り組み —

千賀 敏弘 (58)

《特別寄稿》

社会力を育てる「総合的な学習の時間」の試み 門脇 厚司 (64)

会員のひろば (70) 復刊四百号記念特集 (73) あとがき (85)

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《グラビア》
二年の学習

《序文》

個人主義と信号無視 内田聖二 (1)

総合的な学びを育てる学習法
子どもに育つ確かな力②

主題

「気づく力」を考える 岩井邦夫 (4)
—子どもの気づきに気づかせられて—

学習のはじまりにみる、気づく力 堀本三和子 (10)

子どもの「問い」が生まれる背景 杉澤学 (16)

❖子ども記 ありがとうございます 日和佐尚 (22)



奈良女子大学文学部附属小学校学習研究会・編集

実践

「光の造形」 都留進 (24)
—五年・総合的表現学習—

「スイミー」を読もう(二年) 梶田萬理子 (30)
—表現追究のおもしろさを—

『気になる木』のほばをさつ(八年目の実践から) 小幡肇 (36)
—「学園前の町・大研究」(二年)をやってみて、
みつけた『おもしろい話(教材研究)』—

個別テーマの理科学習 谷岡義高 (42)
—四年「生き物の季節変化を調べる」—

子どもが創る運動会団体演技 阪本一英 (48)
—5・6年の団体演技の取り組みより—

❖まほろば Enjoy→Play→Study 野崎宣器 (54)

《実践寄稿》 知りたいな!おじいちゃん、おばあちゃん 早川健治 (56)
—人と人との関わりから、お年寄りの生き方にふれる
(四年生・総合的な学習「福祉」)—

《特別寄稿》 理科をとおしてどんな人間を育てるのか 藤井浩樹 (62)
—ドイツの事例から—

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



《グラビア》
一年の学習

《序文》
謝る文化・謝らない文化 内田聖二 (1)

総合的な学びを育てる学習法

子どもに育つ確かな力

主題

—基礎になる力—

学びの前提を問う 中谷内政之 (4)

—総合的学習で育つ「確かな力」の考察—

総合的な学びの「土台」 廣岡正昭 (10)

総合的な学習を支える四つの力 金津琢哉 (16)

❖子ども記 保健室こぼれ話 矢田留美子 (22)

実践

子どもが生きる 岩井邦夫 (24)

忍者の体育学習(三年)

わたしの算数研究 日和佐尚 (30)

—数や形であそぼう(二年)へその二—

「ものをあたためると……Ⅱ」(四年) 杉澤学 (36)

—確かな自学追究力を伸ばす理科の指導と展開—

奈良の歴史ウォッチングⅠ(六年) 堀本三和子 (42)

ペットボトルでびったしかんかん 太田誠 (48)

—二年算数の課題学習の実践より—

❖まほろば 地学巡検とさんぽ学習 谷岡義高 (54)

《実践寄稿》

意欲的に伝え合う子どもを育てる

—五年「インスタント食品とわたしたちの生活」

—ディベート学習の取り組みより—

岡本恵理子 (56)

《特別寄稿》

「教養」としての学びの構成

—公教育における総合的学習の意味—

本山方子 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《90周年特別企画》

創立九十周年に寄せて

丹羽雅子

これぞ女子大附小!!

学習研究会

《序文》

「技術革新」との共生

内田聖二 (1)

90周年企画⑥

主題

総合的な学びを育てる学習法
— 教科学習と総合的な学習 —

総合的な学びを育む学習

嶋守哲夫 (4)

二十一世紀の算数学習の

日和佐 尚 (10)

構築に関する一考察

総合と教科学習の関連の持たせ方

谷岡義高 (16)

— 三年「昔の道具調べ」 —

子ども記 五七五の表現で 都留 進 (22)

実践

友だちの絵本を楽しもう(一年生)

梶田 萬理子 (24)

お笑い係、大活躍(二年星組・朝の会)

小幡 肇 (30)

「ものをあためると……I」(四年)

— 確かな自学追究力を伸ばす理科の指導と展開 —

杉 澤 学 (36)

総合的な学習と表現運動

— 五年生「産業研究」の実践 —

阪本 一英 (42)

心から踊るダンスのけいこ

— 模倣・自由ダンスから表現へ —

牧田 佳子 (48)

教師の日記 新米管理職事始め 中谷内 政之 (54)

《実践寄稿》

シーサー探検

— よりよく生きる力を育てる(障害児学級) —

新垣 香代子 (56)

《特別寄稿》

有能な子どもを育てる

嶋野道弘 (62)

通信 (68) あとがき (68) 表紙・カット絵: 嶋守 哲夫



《序文》

時間との共生 内田聖二 (1)

《ひろば》

安全教室 日和佐 尚 (4)

主題

90周年企画⑤
総合的な学びを育てる学習法
——生活の発展と自己の確立——

自らの追究力を育てる 中谷内 政之 (6)
——「歴史街道めぐり」の実践から考察——

人間らしく生きる 金津 琢哉 (12)

評価の面から生活の発展と自己の確立をとらえる 太田 誠 (18)

子ども記 走る 嶋守 哲夫 (24)

実践

自立へ向けて、「豆忍者」修業の体育、その後 岩井 邦夫 (26)

子どもが身を乗り出す地域探究Ⅱ(三年生) 廣岡 正昭 (32)
——総合的な「こと」の学習「奈良今昔ものたむ」の実践より——

再び始めた「気になる木」の「はっぱ」をふやそう 小幡 肇 (38)
——子どものおもしろいところをみつける①——

「見上げてみよう」太陽、月、星Ⅱ(四年) 杉 澤 学 (44)
——「けいこ」理科の自学追究力を伸ばす展開③——

高学年児童の飲酒体験 矢田 留美子 (50)
——アンケート調査結果から——

教師の日記 みんなが楽しめるゲームとは 阪本 一英 (56)

《実践寄稿》

電磁石の磁力の発生と強さの仕組みを考える 中村 大地 (58)
——六年「電磁石」の実践を通して——

《特別寄稿》

「意味ある学び」 内田 伸子 (64)
——結果主義から過程主義への路線変更——

通 信 (70) あとがき (70) 表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》

情報との共生 内田聖二 (1)

《ひろば》

保護者との共同企画(一年) 小幡 肇 (4)

主題

90周年企画④
総合的な学びを育てる学習法
— 独自学習・相互学習 —

自由研究のスズメ 都留 進 (6)

— 発表から生まれる独自学習と相互学習 —

自分を頼りに学習できる 子どもに 梶田 萬理子 (12)

子どもに

相互学習が独自学習に 杉澤 学 (18)

与える効果

◆子ども記 お別れする先生方へ 堀本 三和子 (24)

実践

箱の研究 嶋守哲夫 (26)

— パッケージを素材とした造形学習(4年) —

わたしの算数研究 日和佐 尚 (32)

— 数や形で遊ぶ(二年) — 《その一》

理科の学習課題の生じる場面 谷岡義高 (38)

— 三年「光の学習」を通して —

生活発展の意欲を培う 阪本一英 (44)

歩走練習

池いけチャンピオン 太田 誠 (50)

— 二年算数の課題学習の実践より —

◆教師の日記 行事のたびに思うこと 廣岡正昭 (56)

《実践寄稿》

子どもの視界が広がるとき 池田 節 (58)

— 二年「マンホールのひみつ」から「よ」より —

《特別寄稿》

〈今を生きること〉 西野 範夫 (64)

としての子どもの学び

通信 (70) あとがき (70) 表紙・カット絵: 嶋守 哲夫



《序文》

自然との共生 内田聖二 (1)

《ひろば》

広がる世界 矢田留美子 (4)

主題

90周年企画③
総合的な学びを育てる学習法
—— 自立的な学び ——

学びのしつけ 大津昌昭 (6)

総合的な学習を推進
する前に、これだけは 岩井邦夫 (12)

自立的な学びをめざして 堀本三和子 (18)

子ども記 納得 杉澤学 (24)

実践

私流「ろうそくの科学」(6年生)
——「先生がする授業」の実践から—— 中谷内政之 (26)

子どもが身を乗り出す地域探究I(3年生)
——総合的な「こと」の育「わたし」の奈良ものがたりの実践より—— 廣岡正昭 (32)

「モグラが……」 小幡肇 (38)

お買いものをしよう(二年) 日和佐尚 (44)

パフォーマンスレビューを書こう 金津琢哉 (50)

❖ 教師の日記 カナダ 地質見学の旅 谷岡義高 (56)

《実践寄稿》

運動を通して自分に気付きお互い
に支え合える子どもを育てる 大越真弓 (58)

《特別寄稿》

復唱とWHATが授業を変え 志水廣 (64)

通信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《序文》

「人」との共生 内田聖二 (1)

《ひろば》

さまざまな生命を実感する 杉澤 学 (4)

90周年企画②

主題

総合的な学びを育てる学習法
— 総合的な学習の深化 —

今、子どもと、総合的に
学習を創造しているか

都留 進 (6)

「総合的な学習」の深化、
三つのポイント

小幡 肇 (12)

主体的・創造的な力を育む
総合的な学習

阪本 一英 (18)

子ども記 波 紋

日和佐 尚 (24)

実践

自立へ向かって、

豆忍者の体育は今

岩井邦夫 (26)

大壁画「夢の木」を描こう

— 6年月星両組による共同制作 —

嶋守哲夫 (32)

理科学習の始まる時に

谷岡義高 (38)

おやつBookを作ろう(II)

— 五年しごと学習の実践より —

堀本三和子 (44)

物語を楽しもう

— 『おはなしの会をしよう』(光村三年下) —

金津琢哉 (50)

❖ 教師の日記 若気の至りを忘れずにいたい

太田 誠 (56)

《実践寄稿》

子どもたちの発想を生かした授業

— 4年「角」の指導を通して —

水野勝通 (58)

《特別寄稿》

「総合的な学習の時間」を意味あるものにするために

— 奈良女子大学の附属小学校に何を学ぶか —

西村拓生 (64)

通信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》

「共生教育」のすすめ 内田聖二 (1)

《ひろば》

臨海合宿 嶋守哲夫 (4)

主題

90周年企画①
総合的な学びを育てる学習法
— 学習法と21世紀の教育 —

教育の遺産 大津昌昭 (6)

新世紀、学習法の行く道 中谷内政之 (12)

— 21世紀の教育を考える —

「新」教育を考える 廣岡正昭 (18)

— 奈良の学習法からの一つの提言 —

❖子ども記 学校生活の思い出 岩井邦夫 (24)

実践

「光と影のパフォーマンスをつくらう」 都留進 (26)

— 総合的な造形表現学習を求めて —

がっこうニュースの 梶田萬理子 (32)

— じかんですよ(一年生) —

街角の算数 日和佐尚 (38)

— おもしろ算数大研究(六年)へその三 —

おやつBookを作ろう(I) 堀本三和子 (44)

— 五年 ごとと学習の実践より —

「見上げてみよう!」太陽、月、星(I)(四年) 杉澤学 (50)

— 「けいこ」理科の自学追究力を伸ばす展開② —

❖教師の日記 心の覗き窓 金津琢哉 (56)

《実践寄稿》

子どもが見方・考え方をつくり合える活動をめぐって 都留覚 (58)

— 異を知り、同を知る活動を考える —

《特別寄稿》

面白い教材で学習技能を育てる 有田和正 (64)



《序文》

教官室の風景から 平井 タカネ (1)

《ひろば》

対象物を鋭く見る 杉澤 学 (4)

主題

総合的な学びを育てる

— 子どもと教師 —

子どもと教師 中谷内 政之 (6)

— 総合的な学びと教師の姿勢を考える —

「総合的な学習」における
「教師の指導性」について 廣岡 正昭 (12)

子どもの納得、教師の納得 梶田 萬理子 (18)

◆子ども記 子どもたちの朝食事情 矢田 留美子 (24)

実践

音楽づくりしよう (四年) 後藤 充郎 (26)

街角の算数 おもしろ算数大研究(六年)△その二▽ 日和佐 尚 (32)

二年 奈良さんぽとその表現 谷岡 義高 (38)

表現する力を引き出す説明文の学習過程づくり 『ありの行列』(光村三年上)の実践 金津 琢哉 (44)

子どもの学習、教師の学習 実体験に基づく表現「海のいきものたち」 牧田 佳子 (50)

◆教師の日記 役員という名のボランティア 堀本 三和子 (56)

《実践寄稿》

楽しく作ろうマイナップ 西村 久子 (58)

— 五年「わたしのふくろぼくのふくろ」より —

《特別寄稿》

総合的な学習と「学力低下」問題 日台 利夫 (64)

通信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《序文》

心の育ち 平井 タカネ (1)

《ひろば》

育てて食べよう、マイキャベツ 堀本 三和子 (4)

主題

総合的な学びを育てる
— 子どものよさを活かす —

子どもが創る学習を考える 都留 進 (6)

子どものよさが活きる個人プロジェクト学習 嶋守 哲夫 (12)

子どものよさを活かす読みの相互学習 金津 琢哉 (18)

— 「読む・聞き合う・書く」三段学習法試論 —

子どもも記 6学年に臨む心の準備 中谷内 政之 (24)

実践

豆忍者、再び参上!

— 十八年目の忍者体育、最前線 —

岩井 邦夫 (26)

思い出いっばい劇場ごっこ(二年) 梶田 萬理子 (32)

6年間続けてきた『しごと』学習から 小幡 (38)

総合的な学習の質問に答える

「電気&豆電球のふしぎ研究」(三年) 杉澤 学 (44)

— 「けいこ」理科の自学追究力を伸ばす展開 —

子どもが創る運動会団体演技 阪本 一英 (50)

教師の日記 トライアル首都東京 蜂須賀 渉 (56)

《実践寄稿》

一つの教材からの発展 楠見 静子 (58)

— 手づくり楽器からの発展の試み —

《特別寄稿》

「装置」としての授業 森脇 健夫 (64)

通信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



《序文》

友だちがいたから 平井 タカネ (1)

《ひろば》

介助犬、コンニチハ！ 阪本 一英 (4)

主題

総合的な学びを育てる

— 学び合い —

民族音楽による学び合い 後藤 充郎 (6)

子どもにとって、学びとは何か 谷岡 義高 (12)

— 学び合いを育てる学習時間 —

学び合いをつくる子ども 堀本 三和子 (18)

❖ 子ども記 日君の賀状 大津 昌昭 (24)

実践

「ひとり立ちの理科学習」を目指して 中谷内 政之 (26)

— 自律的に追究する子どもの育成 —

おせわになっていっている人びと 廣岡 正昭 (32)

— 一年生「しごと」の実践より —

子どもの発達段階に応じた造形学習の題材開発 嶋 守 哲夫 (38)

街角の算数 日和佐 尚 (44)

— おもしろ算数大研究(六年)△その一▽ —

「石けん」となかよく 矢田 留美子 (50)

— 保健グループの活動 —

❖ 教師の日記 「学校」の存在 岩井 邦夫 (56)

《実践寄稿》

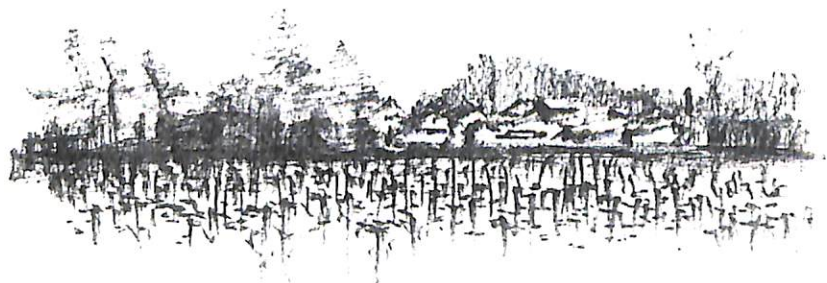
戦争体験の聞き取りを中心にした歴史学習 佐 竹 康 弘 (58)

— 一人の「気になること」から考えを深めていく —

《特別寄稿》

多様な出合いの場をもつ 阿 部 いと子 (64)

通 信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《序文》

食の学習は知を総合する 平井 タカネ (1)

《ひろば》

躍動する子ども 廣岡 正昭 (4)

主題

総合的な学びを育てる
— 学びの意欲 —

学習と意欲 大津 昌昭 (6)

総合的な学びと子どもの意欲 岩井 邦夫 (12)

学びの意欲が生まれる要件 杉澤 学 (18)

❖ 子ども記 メール 友小幡 肇 (24)

実践

「みんなで町をつくろう」 都 留 進 (26)

ことばのお店やさんごっこをしよう(一年) 梶 田 萬理子 (32)

OneDayFreeの経過と展望(下)
— 高学年の学級づくりの核として — 蜂須賀 渉 (38)

雪と友だちになろう 堀 本 三和子 (44)

創造的な力を培う体育学習
— 4年生組の運動ランドをつくろうの実践より — 阪 本 一 英 (50)

❖ 教師の日記 教師も健康第一 矢 田 留美子 (56)

《実践寄稿》

やってみよう! 米作り 京都府北桑田郡美山町立宮島小学校 (58)

《特別寄稿》

子ども一人ひとりの「人間」を観るまなざし 吉 川 成 司 (64)

通 信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



《序文》

急いではなりません 平井 タカネ (1)

《ひろば》

一年生と学習研究発表会 岩井 邦夫 (4)

主題

総合的な学びを育てる

—計画づくり—

学習と計画画 大津 昌昭 (6)

学習法の要件 中谷内 政之 (12)

『総合的な学習』の計画づくりの
構えを変えてみよう 小幡 肇 (18)

子ども記 子どもと作るさんぽの歌 谷岡 義高 (24)

実践

楽しいサウンドをつくろう 後藤 充郎 (26)

風景を造形しよう 嶋守 哲夫 (32)

—デジタル画像を使ったCGの製作(四年)—

One Day Freeの経過と展望(上) 蜂須賀 渉 (38)

—高学年の学級づくりの核として—

牛乳から広がる世界Ⅱ 堀本 三和子 (44)

表現する力を引き出す説明文の学習過程づくり 金津 琢哉 (50)

—理論編—

教師の日記 『源 創 展』 都留 進 (56)

《実践寄稿》

意欲的に学び合う子供を育てる 榎岡 壽江 (58)

—2学年「わたしのみつけた秋の宝物」より—

《特別寄稿》

子どもの行為と学びの成り立ち 松本 健義 (64)

通信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《序文》

遊びの絆と学級仲間 平井 タカネ (1)

《ひろば》

ことばのお店やさんごっこ 梶田 萬理子 (4)

主題

総合的な学びを育てる

—学級づくり—

学級主体形成の環境づくり 日和佐 尚 (6)

学級崩壊と学級づくり 蜂須賀 涉 (12)

—高学年の担任として—

子どもの追究力を育む学級づくり 阪本 一英 (18)

❖子ども記 風 金津 琢哉 (24)

実践

「ゆめたんけんをしよう」 都 留 直 (26)

—総合的表現学習をめざして—

子どもとつくる運動会 岩井 邦夫 (32)

—布の体操(友愛の花を咲かそう)(五・六年)—

追究力が伸びる「町たんけん」パートII 廣岡 正昭 (38)

—二年生「しごと」の実践より—

金魚の卵を育てることから始める「総合的な学習」(その三) 小幡 肇 (44)

—個人のインタビュー活動による調査と発表のさせ方—

こぎつね奈良さんぽ(二年) 谷岡 義高 (50)

—アメリカの友達に奈良を紹介しよう—

❖教師の日記 おじやま虫 大津 昌昭 (56)

《実践寄稿》

みんな生きている 忍海小学校 五年生教師集団 (58)

—五年生の十月から三月までの取り組みから—

《特別寄稿》

「物語る」ことと歴史学習 江間 史明 (64)

通信 (70) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《序文》

一人ひとりの附小音頭 平井 タカネ (1)

《ひろば》

待ちに待った入学式 矢田 留美子 (4)
子どもがつくる春の小運動会 金津 琢哉 (6)

《特別寄稿》

生涯にわたる主体的学習から教科・教材を見直す 木 全力 夫 (8)

主題

奈良発「総合的な学習」の提案
——新しい学校知——

知 恵 の 獲 得 大津 昌 昭 (14)

子どもの自己実現に資する「学校知」を 廣 岡 正 昭 (20)

子どもの学習リズムからみた 谷 岡 義 高 (26)

新しい学校システムについて

◆子ども記 子どもの幸せ観 岩 井 邦 夫 (32)

実践

音 楽 鑑 賞 会 後 藤 充 郎 (34)

卒論に取り組んで(六年) 梶 田 萬 理 子 (40)

附小の情報教育 嶋 守 哲 夫 (46)

高学年における邂逅学習(算数)の展開 蜂 須 賀 渉 (52)

総合的な学習の視点を切り口にした体育学習 阪 本 一 英 (58)

——3年生「シュートボール」の実践より——

◆教師の日記 2000年1月2日 小 幡 肇 (64)

《実践寄稿》

「宅配便の秘密を探ろう」の実践を通して 井 上 武 彦 (66)

通 信 (70) あとがき (72)

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》

子どもがひそかに

充実するとき

平井 タカネ (1)

《ひろば》

P.T.C.C.のエコハイキング

大津 昌昭 (4)

なかよし

谷岡 義高 (6)

《特別寄稿》

オーストラリアの学校の授業風景と社会環境科

木全 清博 (8)

主題

奈良発「総合的な学習」の提案
——子どもの生きがい——

生きがいを育てる総合学習

濱田 東起夫 (11)

生活発展の喜びを子どもとともに

日和佐 尚 (20)

子どもが生きがいを感ずるとき

堀本 三和子 (26)

◆子ども記 楽しいなキッズワールド 廣岡 正昭 (32)

実践

「総合学習in2000」こんな学習がしてみたい

——その経緯と成果の報告——

中谷内 政之 (34)

「あわの造形」

——総合的表現学習をめざして——

都 留 進 (40)

金魚の卵を育てることから始める

『総合的な学習』(その二)

小 幡 肇 (46)

生成する学習材

——ケナフの「しごと」的扱いについて——

金 津 琢 哉 (52)

『学校保健』

「ほけんしつだより」を見直す

矢 田 留 美 子 (58)

◆教師の日記 N先生からのDear 嶋 守 哲 夫 (64)

《実践寄稿》

子どもの期待に応える英語教育

高 橋 豊 (66)

通 信 (70) あとがき (72)

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》
 現実との出会い、
 その感性を原点として 平井 タカネ (1)

《ひろば》
 サウンドグループ 後藤 充郎 (4)
 美化委員会 蜂須賀 渉 (6)

《特別寄稿》
 合科学習実践の遺産と蓄積から学ぶこと 前田 賢次 (8)

主題 奈良発「総合的な学習」の提案
 — 表現の個性化 —

個性的な表現を育む 都 留 進 (14)
 子どもは考える 子どもが考える 岩井 邦夫 (20)
 表現の個性化をめざした学習づくり 嶋守 哲夫 (26)

❖ 子ども記 夜を駆ける子どもたち 矢田 留美子 (32)

実践

豊かな気づきを育てる「町たんけん」
 — 二年生「しごと」の実践より — 廣岡 正昭 (34)
 「鼻」(芥川龍之介作・六年)を読む
 — 独自学習の生かし方を考える — 梶田 萬理子 (40)
 さんぽから広がる新たな世界
 — 一年コンピュータで絵本を作ろう — 谷岡 義高 (46)
 牛乳から広がる世界 I 堀本 三和子 (52)
 ぼくの私の町たんけん!
 — 三年生「しごと」の実践より — 阪本 一英 (58)

❖ 教師の日記 小説の試み 大津 昌昭 (64)

《実践寄稿》

「バイキング」学習の試み 萩原 良子 (66)
 — 個性を生かし、学ぶ喜びを —

通信 (70) あとがき (72)

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》

カニは仲間たちの
海に向かっていった 平井 タカネ (1)

《ひろば》

感動の大きい運動会 濱田 東起夫 (4)
後期 高学年グループなかよし 嶋守 哲夫 (6)

《特別寄稿》

ポリフォニーのような自然林のような 松本 康 (8)
奈良女附小の子どもたち

主題 奈良発「総合的な学習」の提案
——内なる世界の拡充——

子どもの学びを拓く 中谷内 政之 (11)
総合的な音楽学習を考える 後藤 充郎 (20)
自らの生き方に迫る学びの場をつくる 梶田 萬理子 (26)

❖ 子ども記 11月19日子どもの日記より 阪本 一英 (32)

実践

ヒメダカが死んだ 大津 昌昭 (31)

総合的な学習に「新聞記事の研究」を 岩井 邦夫 (10)

——五年生の実践より——

金魚の卵を育てることから始める 小幡 肇 (16)

『総合的な学習』(その一)

街角の算数 日和佐 尚 (52)

——街角の美しい形の研究(六年)(その三)——

さんぽで見つけた生き物 谷岡 義高 (58)

——むしむしどうぶつランドを開こう——

❖ 教師の日記 教師が生きているか 金津 琢哉 (64)

《実践寄稿》

新たな自分を創る子ども 山西 正泰 (66)

——5年ぐすのまき書 ハスの中で見た自分の実践を通して——

通信 (70) あとがき (72)

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》

他者を生きる「いのち」の交感 平井 タカネ (1)

《ひろば》

高学年なかよし集会 中谷内 政之 (4)
 子どもが創る『行事』 小幡 肇 (6)

《特別寄稿》

総合的な学習の創設 児島 邦宏 (8)

主題

奈良発「総合的な学習」の提案
 —いのちのつながり—

命の大切さに導かれる総合的学習考 濱田 東起夫 (14)
 総合的な学習の可能性 蜂須賀 渉 (20)
 没頭と相互交渉の創造 金津 琢哉 (26)

◆子ども記 心のうごめき 梶田 萬理子 (32)

実践

音楽づくりしよう(エスニック) 後藤 充郎 (34)
 水ぞくかんをつくろう 都 留 進 (40)
 —教室を水族館に—
 しごと学習の「まとめ」について 廣岡 正昭 (46)
 —高学年の論文作成の実践より—
 街角の算数 日和佐 尚 (52)
 —街角の美しい形の研究(六年)(その二)—
 わたしの町のすてき(II) 堀本 三和子 (58)
 —三年生「しごと」学習の実践より—

◆教師の日記 「保健室の先生ですか。」 矢田 留美子 (64)

《実践寄稿》

「学級集団づくり」をめざした体育の授業 後藤 恵子 (66)
 —三年『ダンボール』ゲームの実践—

通信 (70) あとがき (72)

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



《序文》
子どもの感性・
子どもの論理からの出発
 平井 タカネ (1)

《ひろば》
 低学年なかよし集会 都 留 進 (4)
 高学年グループなかよし 日和佐 尚 (6)

《特別寄稿》
 いまこそ、「まちづくり」総合学習を 寺本 潔 (8)

主題 奈良発「総合的な学習」の提案
 — 子ども文化の耕し —

教室の文化 大津 昌昭 (14)
学校のシステムを改革する中で総合的な学習を創る 小幡 肇 (20)
総合的な学習と子どもの文化 阪本 一英 (26)

❖ 子ども記 担任のいない二週間 堀本 三和子 (32)

実践

「ボランティア学習」の実践 中谷内 政之 (34)
 — 経過報告(その一) —

子どもが生きる運動会 岩井 邦夫 (10)
 — 輪の体操(仲間の輪・未来へ)(五・六年) —

自由造形(その2) 嶋守 哲夫 (16)
 — 子どもによる子どものための造形学習を探って(4年) —

地域のイベントで邂逅する算数学習 蜂須賀 渉 (52)
 — 四年「およその数」折れ線グラフを通して —

どこと書いて学ぶ(一年生)(下) 金津 琢哉 (58)
 — 一年間の「書く」学習の歩み —

❖ 教師の日記 読書がつなぐタイムトラベル 谷岡 義高 (64)

《実践寄稿》

子どもが自ら進んで活動できる授業をめざして 伊藤 博子 (66)
 — 一年「形の国パート2」の授業を通して —

通信 70 あとがき 72

表紙・カット絵：嶋守 哲夫



君達から学んだこと
— 文集「奈良のことも」を読んで…… —
小田切 毅 一 (4)

主題 「総合的な学習の今日的意義と課題」

総合的な学習の課題と展望 濱田 東起夫 (6)
総合的な学習の意義と課題 大津 昌昭 (12)
学習法の礎とその生命力 中谷内 政之 (18)

■ 子ども記 六年後の告白 矢田 留美子 (24)

実践

ハンドベル演奏の実践(五年生) 後藤 充郎 (26)
子どもが生きる忍者体育の秘密 岩井 邦夫 (32)
あきまつりをしよう 都 留 進 (38)
読む楽しさを求めて 梶田 萬理子 (44)
—「わらわつの中の神様」(五年杉みき子作)—

学びをつなげる 嶋 守 哲 夫 (50)

校内ネットワークづくり

学習法 QあんどA 廣岡 正昭 (56)
教師の指導性をめぐって

授業づくりのポイント

ゲームの効果的な活用で算数を楽しむ 日和佐 尚 (58)

《実践寄稿》

生き生きと自己を表現する 松澤 文人 (60)

子どもが育つ国語科学習指導

— 三年単元名影絵劇「モチモチの木」をつくらう —
■ 教師の日記 わたしの読書感想文 坂本 一英 (64)

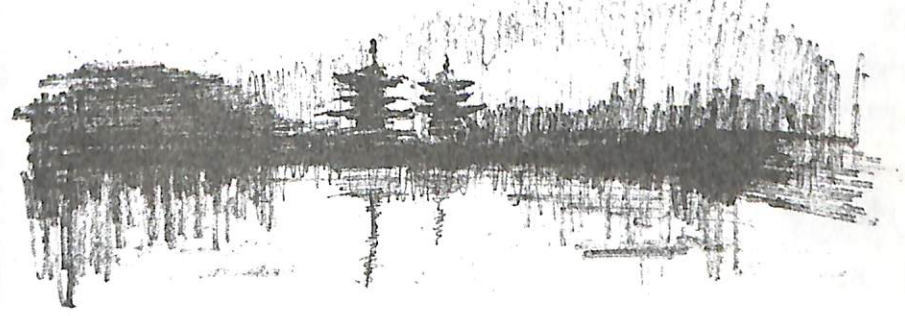
《特別寄稿》

『読書創造 読み方学習の仕方』 浜本 純逸 (66)

(山路兵一著)の新しさ

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真…金津 琢哉 序詞…小幡 肇 表紙・カット…嶋守 哲夫



巣立つ君らに「羽ばたくこと」を忘れずに
—卒業式の式辞から— 小田切 毅 (4)

主題 「総合的な学習—生活を高める高学年—」

生きる力の具体をとらえる 梶田 萬理子 (6)
「なかよし」学習から見えてくるもの 嶋守 哲夫 (12)
総合的な学習における問題解決学習 谷岡 義高 (18)

■子ども記 クロッキータイトム 都留 進 (24)

実践

「親父母にインタビュー劇作り」で総合的な学習を創ることが出来る(その2)

—四年「しごと」おじいちゃんおばあちゃん、大研究— 小幡 肇 (26)

街角の算数 日和佐 尚 (32)

わたしの町のすてき(I) 堀本 三和子 (38)

『平城京』で邂逅する算数学習 蜂須賀 渉 (44)

—四年「平城京へ行く(面積)」を通して—

どしどし書いて学ぶ一年生(上) 金津 琢哉 (50)

—一年間の「書く」学習の歩み—

学習法 QあんどA

「音楽づくり」の手順は 後藤 充郎 (56)
どうあればよいか?

授業づくりのポイント 大津 昌昭 (58)

身体表現によって表現力を誘う

《実践寄稿》 「輝く光の中で」 大屋 美代子 (60)

■教師の日記 命をつないでほしい 濱田 東起夫 (64)

《特別寄稿》

理科教育と仮説の検証 山崎 貞治 (66)

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真: 金津 琢哉 序詞: 岩井 邦夫 表紙・カット: 嶋守 哲夫



「学び」の姿勢を子どもと共有しよう
 — 日曜日の授業参観から — 小田切 毅 一 (4)

主題 「総合的な学習 — 生活を拓く高学年 —」

総合的な音楽学習への取り組み 後藤 充郎 (6)
 子どもの生活を拓く「総合的な学習」を考える 岩井 邦夫 (12)
 「その子の問題」で授業をする 日和佐 尚 (18)

■ 子ども記 お母さんの絵 大津 昌昭 (24)

実践

子どもの生きる教室

— 「教室に「こたつ」を置いてもいいか」 —

中谷内 政之 (26)

わが国の食料を考える(Ⅱ)

— 五年生「しごと学習」の実践より —

廣 岡 正昭 (32)

「祖父母にインタビュー劇作り」で総合的な学習を創ることができる(その1)

— 四年「しごと」おじいちゃん・おばあちゃん、大研究 —

小 幡 肇 (38)

子どものコンピュータ活用の在り方

— ホームページ作りへ向かった実践より —

谷 岡 義 高 (44)

保健室での休養状況と

子どもの暮らし

矢 田 留美子 (50)

学習法 QあんどA

新しい学校づくりの目指す方向

濱 田 東起夫 (56)

授業づくりのポイント

子どもが楽しく描く活動を進めるためには(2)

都 留 進 (58)

《実践寄稿》

働くことの認識を広げる総合単元的な取り組み

— 年間テーマ「活かす」の活動と道徳の時間から —

佐 藤 由 栄 (60)

■ 教師の日記 日常の物音

梶 田 萬理子 (64)

《特別寄稿》

「総合的な学習の時間」の性格

奈 須 正 裕 (66)

通 信 (70) あとがき (72)

口絵写真…金津 琢哉 序詞…金津 琢哉 表紙・カット…嶋守 哲夫

